



リニアがガイドウェイに姿を表わす

は欠かすことのできない施設であります。中でも、八朔祭屋台とこれを彩った飾幕は、他に例を見ない本市の誇る文化遺産であり、これらを保存・展示する場所を用意することは、急務であると認識しております。

このため、博物館構想検討委員会からのご提言をもとに、多くの皆様のご意見を伺う中で準備を進めてまいりましたが、この度、上谷一丁目地内の早馬町用地に建設を進めること

といたしました。

この早馬町用地は、城下町であった谷村本町の中心に位置し、周辺には、県文化財の勝山城址や谷村城址などの史跡や由緒ある寺社が集中するなど、歴史的背景からも最適の場所であると考えております。

次に、本市が重点に取り組んでまいりました保健・福祉行政の充実についてであります。

急速な高齢化や少子化、核家族化

生活環境が変化する中で、求められる社会福祉も多様化して来ております。

そこで、本市では、老人福祉計画、障害者福祉計画等を策定し高齢者や障害児者、児童母子等の各種施策を総合的に推進しているところであり

このよう

なか、昨年中、社会福祉法人により特別養護老人ホームが市内へ建設され、常時介護を必要とするお年寄りが身近な市内の施設へ入所できるようになりました。

また、一定期間入所して介護を受けることができるショートステイや通所して介護や入浴サービスが受けられるデイサービスセンター、お年寄りやその家族が二十四時間体制で相談を受けられる在宅介護支援センターが併設される等、総合的できめ細かなサービスが安心して受けられることとなりました。

今後、高齢者や障害者が家庭や地域で安心して暮らし続けられるよう、施設サービスや在宅福祉サービスの充実を図るとともに、保健活動と福祉の拠点となる保健・福祉センター建設計画を具体化し、医療との連携を図りながら、近い将来実施が予定されている公的介護保険制度の給付内容をも踏まえた保健・福祉サービスの提供を推進し、健康でいきいきと暮らせる長寿の地域社会を目指してまいります。

このような中で、都留市立病院につきましても、必要な診療部門の充実を進め、家庭でも必要な治療・処置が受けられるよう、訪問診療・訪問看護を一層強化するとともに、老人保健施設「つる」におきましても、引き続き在宅介護の支援体制を強化するため、短期利用、日帰り利用の機能を充実してまいります。

次に、文教都市都留市のシンボルであります都留文科大学につきましても、学術・文化や社会システムの

高度化・複雑化に対応しうる広い視野と高度の専門性を身につけた人材を養成するため、二年前に開設した大学院文学研究科を、本年はさらに充実し専攻分野の拡大を図るため、従来の国文学と社会学専攻に加え、英文学専攻を増設すべく準備を進めてまいります。

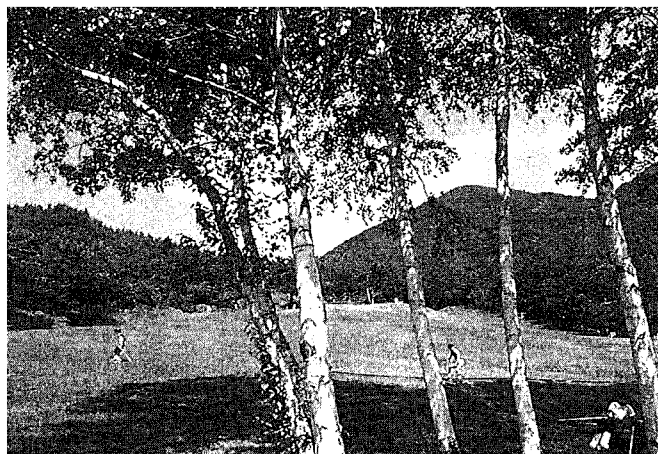
また、国際社会に対応できる人材を育成するための国際交流につきましても、今後さらに海外の協定校や語学研修先の拡大を図り、将来は教員の交流まで視野に入れ、積極的に進めてまいります。

次に、鹿留緑地広場グラススキー場「サンパーク都留」についてであります。

鹿留緑地広場は、昭和六十三年にオープンし、本年度九年目を迎えますが、この間、オフシーズンにスキー気分を楽しめる全国でも有数の本格的グラススキー場を備えた多目的広場として利用を図ってまいりました。

このような中、本年七月二十六日と二十七日の両日、鹿留緑地広場グラススキー場において、第四回高円宮牌グラススキーオープン大会が開催される運びとなりました。主催者から要請を受け、開催地として受け入れることいたしました。

この大会は、近年減少しつつあるグラススキー愛好者を、本市のグラススキー場に呼び戻すとともに、市



グラススキーオープン大会が開催されるサンパーク都留

内のグラススキー人口の底辺拡大に大いに役立つものであります。全国から訪れる二〇〇名に及ぶ選手役員に、本市をPRし、グラススキーのイメージアップを図ってまいりたいと考えております。

以上、当面する事務事業及び年頭に当たっての抱負を申し述べましたが、このほか、懸案となっております国道一三九号都留バイパスの建設促進、桂川流域下水道事業の推進、谷村トンネルの建設、総合運動公園の整備、戸沢地区の温泉を核とした森林公園建設計画の具体化等の現下の重要課題へ取り組み、市民の皆様のみちづくりへ寄せる期待に応えてまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。